

子どもと創る武蔵野の未来

第一中学校 二年 河内 蓮太郎

(1)武蔵野市が十年後も「わたしが住みた」ま

ち」となるようにするには、毎日のくらしの

中で、地域の人のつながりを大切にすること

が必要だと思えます。そのためには、僕た

ちが積極的に地域のボランティア活動に取り

組むことがより重要になると思えます。

なぜ地域の人のつながりを大切にすること

が必要だと思いたのかと言うと、そうする

ことで信頼関係のある仲の良いまちになるか

らです。それこそが武蔵野市が十年後も「わ

たしが住みたいまち」となることだと思いま

す。ではなぜ僕たちが積極的に地域のボラン

ティア活動に取り組むことが良いと思っ

たか。それは地域の人たちとつながりを持つた

ためです。僕は出身小学校の運動会、ジャ

ンボリー、あそべえの卓球大会の審判や試合の

相手等のボランティア活動の経験があり、そ

うすること、特にジャ

ンボリーは三日間寝食を共にするためとても  
 仲が深まりますし、出身小学校の生徒だけで  
 無く、年上の方たちとも交流できるので、  
 ても良い行事だと僕は思います。そして僕  
 が通っている第一中学校では地域の人たちと  
 つながる行事がたくさんあります。例えば体  
 育祭、地域のたぐさんの人たちが見に来ます。  
 ハートカードも素晴らしい行事です。ハート  
 カードとは生徒たちが地域のお年を召された  
 方たちに手紙を送る行事です。中にはその手  
 紙の返事を書いてくださる方もいて、年配の  
 方とのつながりが生まれます。一中フエスタ  
 では、地域の人たちの協力のおかげでいろい  
 ろなことを体験することができます。こうし  
 て今、僕は小学校のボランティアアをし、逆に  
 地域の人たちにボランティアアをされています。  
 小学校では卒業した後、大きな先輩としてさ  
 らに下の後輩のイベントのボランティアアをし  
 ています。そして僕と同じように卒業しても  
 一緒にいたいと思う人が年々増え、それに連

れてつながりの輪も広がっていきます。この  
 他にも僕の出身小学校や第一中学校だけでな  
 く武蔵野市内の小中学校でも地域の人たちの  
 ボランティア活動でできるイベントがありま  
 す。僕たちは普段地域の人たちとこころか  
 近所に住んでいる人たちすらもあまりなが  
 りがありません。だからこそこういうボラン  
 ティアイベントに参加することにより地域  
 内のつながりを深めていくことが何よりも重  
 要です。そうしていくことにより信頼関係の  
 ある仲の良いまちになり、お互いを信頼する  
 関係ができれば、例えば災害時や病気の怪我  
 をした時に頼れる人がすぐ近くに居てくれる  
 ことで、安心して住めるまちになります。  
 このようなことから僕は僕たちが積極的  
 に地域のボランティア活動に取り組むことが  
 出来、そうすることによって地域の人となが  
 りが出来ます。そしてそのつながりを大切に  
 する。そうすることによって十年後も「わたしが住  
 みたいまち」が創れる。これこそが今、僕た

No. ....

No. ....

うに出来て、必要なことが出来る。